パッソ工房
Man to Man Passo
通算第 102

「ゆっくり・楽しくから創める」を目指していきます　2025年3月号

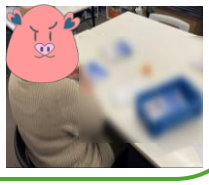
就労継続支援B型事業所

パッソ工房新聞 熱田

工房の日常紹介

今月は封入のお仕事紹介をします。
1年に数回行っている、利用者の皆さんが大好きなお仕事の一つです。ビニール袋に冊子を1枚ずつ入れていき、袋に2枚入らないように確認しながら作業を進め、最後に測りを使って確認します。
この作業に慣れた方はパッパッパとでき、出来た数をかぞえながら、「とっても楽しいよ！」とニコニコしていて工房が明るくなります。
ひとりひとりが色々なことにチャレンジして失敗してもやり直す、体験をしています。

担当　Y･M



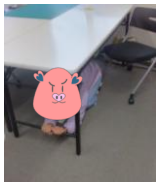
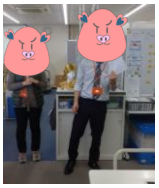
工房の作品紹介

「みんなの為になれば良いな」という
想いで利用者さんが書いて下さっています。

防災訓練を実施しました

工房熱田にて防災訓練としてシェイクアウト訓練をみなさんと一緒に行いました。シェイクアウトとは地震の時に身を守るために「姿勢を低く、頭を守る、動かない」という事を身につける訓練です。

「お」「か」「し」とは
「お」押さない
「か」かけない
「は」走らない

災害が起き避難するときには「お」「か」し」の3つを守る事を伝えました。
参加した方からは「知らなかったので、こういう機会に知ることが出来て嬉しい」などという声があがりました。今後も定期的に行っていきたいと思います。

3月25日(火)～3月27日(金)
10:00～12:00 / 13:00～15:00

何かしたいけどどうしたらいいのかわからい･･･
と思ったら、いっぽ踏み出してみよう
お電話お待ちしております

見学･体験日はご相談させていただきます

052-678-3398
お申し込みは電話で
受け付けしております

今月はパッソ工房熱田からお知らせ

工房熱田の利用者さまに
アンケートを実施しました。

利用者の皆様に Q1 パッソ工房へ通所しようと思った理由、Q2 通い始めて良かった事やご自身の変化について伺いました。

70代　男性

【Q1 の答え】
役所から紹介されたことがキッカケです。
【Q2 の答え】
楽しく仕事が出来て良かったです。

10代　男性

【Q1 の答え】
パッソくらぶに通所しており、そのまま工房へ通所した。
【Q2 の答え】
集中力がついた。

30代　男性

【Q1 の答え】
自分の中に現状へのいら立ちや不安があったから。
【Q2 の答え】
朝決まった時間に起床し、決まった時間に外出するという習慣がついた。

20代　女性

【Q1 の答え】
家から近い事、色々な作業を出来ると思ったから。
【Q2 の答え】
ミシンがキレイに縫えるようになったこと。

40代　女性

【Q1 の答え】
就労移行も同じ事業所であるからサポートをちゃんと受けれる事が安心したから。
【Q2 の答え】
20年ほど痛かった膝が、心も身体も整ってきて治っ歩いたり走ったり走る事が出来るようになって嬉しいです。

パッソ工房に通所を始めてから「生活リズムが良くなった」「体調が安定してきた」と感じていらっしゃる利用者さまが多くいらっしゃいます。スタッフから見ても体調面、作業面だけでなく明るく楽しく過ごされている方がいらっしゃいます。

スタッフより

優先調達に対応しています

事務用品の購入やデータ入力、名刺印刷などのご依頼お待ちしています。

パッソ工房では事務用品、データ入力、名刺印刷などを低価格で提供しています。自治体の予算の有効活用として優先調達業務が発注される例もあります。優先調達を通じた上記以外の物品や作業等もご相談ください。お問い合わせをお待ちしております。

優先調達とは？

障害者優先調達推進法に基づき、障害のある人が就労によって経済的な基盤の確立と自立した生活を送ることを目的に、自治体が障害者就労支援施設等に優先的に物品等を発注する仕組みです。

お気軽にお問い合わせください

就労継続支援 B 型事業所　パッソ工房熱田

パッソ工房熱田

〒456-0022　名古屋市熱田区横田一丁目 11 番 6 号　フジ神宮ビル 2 階

TEL：052-678-3398
FAX：052-253-6038

パッソ工房で検索　パッソ工房